

京都大学 ヒト行動進化研究センター 教授

令和6年9月27日

職種	教授
募集人数	1名
所属および勤務場所	所属 京都大学全学教員部（京都大学ヒト行動進化研究センター） （勤務場所 愛知県犬山市官林41-2 京都大学犬山キャンパス） （変更の範囲）大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
職務内容・資格等	ヒト行動進化研究センターは、サル類を対象とした実験的研究により、ヒトの行動特性とその進化の生物学的基盤を究明することを目的としています。このたび、音声言語や直立二足歩行等の行動特性を実現している身体制御機構およびその発達や老化、さらにその進化的起源を明らかにする研究を意欲的に推進する方を求めます。なお、本研究センター教授で構成される協議員会に加わり、研究センターの運営に参加していただくとともに、大学院理学研究科生物科学専攻霊長類学・野生動物系の教授として後進の指導・教育を行っていただく予定です。 （変更の範囲）京都大学の業務（教育・研究・運営）
採用日	2025（令和7）年4月以降のできるだけ早い時期
任期	なし
試用期間	あり（6か月）
勤務形態	専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
給与・手当等	本学支給基準に基づき、能力・経験に応じて決定
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
応募書類	1.~7.のPDFファイルを保存したUSBメモリ等の記録メディア1個。 お送りいただいた書類は本選考のためだけに用います（返却はいたしません）。 1. 履歴書（出産・育児により研究を中断した期間がある場合にはそれがわかるように記載してください） 2. 教育実績、特記すべき学会活動歴、外部資金（科研費等）の受領歴 3. 研究論文の目録（各論文の責任著者には*印を、代表的な論文10編には○印を付けてください。これら10編の論文については、記録メディアにこれらのPDFファイルを保存してください。印刷中、投稿中の論文を加える場合は、現在の状況を示す編集者からの手紙または電子メールのコピーを添えてください。） 4. 研究論文以外の印刷公表物の目録（主な著作物については、記録メディアにこれらのPDFファイルを保存してください。） 5. これまでにおこなってきた研究内容の要旨（3000字程度） 6. 採用された場合におこなおうとする研究の主題とその目的・方法などの

	<p>要旨（3000字程度）</p> <p>7. 応募者について意見を伺える方のお名前・所属・電子メール（可能であれば推薦状）</p>
応募締め切り	2024年11月29日（金曜日）まで（必着）
選考方法	<p>選考は、本研究センター教員等からなる選考調査委員会の審議を経たうえで、教員選考会議で決定します。</p> <p>書類審査に加えて、面接審査をおこなう場合もあります。選考結果は、当該個人に関する結果だけを応募者にお知らせいたします。選考に際して、これまで不正に関与していないことを示す申告書を提出していただきます。（申告書の様式はこちらです https://u.kyoto-u.jp/fhtno）</p>
応募書類提出先	<p>〒484-8506 愛知県犬山市官林 41-2</p> <p>京都大学ヒト行動進化研究センター長 中村克樹 宛にお送りください。</p> <p>なお、封筒に「ヒト行動進化研究センター教授人事」と朱書して下さい。</p>
問い合わせ先	ヒト行動進化研究センター内 中村克樹（ nakamura.katsuki.4z@kyoto-u.ac.jp ） TEL: 0568-63-0558
その他	<p>本研究センターは、統合脳システム分野、高次脳機能分野、ゲノム進化分野、人類進化モデル研究センター、国際共同先端研究センター、で構成されています。大学院教育は、理学研究科生物科学専攻霊長類学・野生動物系としておこなっています。ヒト行動進化研究センターについてのその他の情報はホームページ（https://www.ehub-kyoto-u.com/）でも見ることができます。</p> <p>提出書類は、採用審査のみに使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。</p> <p>本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。また、選考において、出産・育児期間中の業績については休業期間の前後と等しい実績を上げたものとみなします。</p> <p>京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。</p>